

カマキリ



名前の由来については、「鎌で切る」から「鎌切り」となったという説と、「カマキリ」は、「鎌をもつキリギリス」の意味であるという説とがある。6本の脚のうち、前脚は先端を除く大半が鎌状に変化し、多数の棘がある。頭部は逆三角形で、2つの複眼と大あごが発達する。前胸は長く、頭部と前胸の境目は柔らかいため、頭部だけを広角に動かすことができる。触覚は毛髪状で細長く、中脚と後脚も細長い。食性は肉食性で、自身より小さい昆虫や小動物を捕食するが、大きさによってはスズメバチやキリギリス、ショウリョウバッタ、オニヤンマ等の大型肉食昆虫やヘビ、クモ、カエル、トカゲ、ミミズなど昆虫以外の小動物を捕食することもある。また、獲物が少ない環境では共食いすることもある。

下の写真は、脱皮したてのカマキリ。脱いだ皮が落ちている。